

“せとうちDMO”の取組状況について

1 要旨・目的

一般社団法人せとうち観光推進機構の「令和3年度定時社員総会」において、令和2年度の取組状況について報告が行われた。

2 現状・背景

せとうち観光推進機構では、令和2年の瀬戸内7県の外国人延べ宿泊者数600万人泊を目標として海外からの誘客に取り組み、令和元年までは順調に増加していたものの、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、令和2年の実績は目標を大幅に下回る61.4万人泊（前年比▲378.8万人）となった。

3 概要

(1) Web プロモーション

コロナ後のインバウンド需要回復期において、瀬戸内エリアに外国人観光客を呼び込む土台作りを進めるため、海外向けWebサイト「SETOUCHI REFLECTION TRIP」の掲載コンテンツの拡充、SNSを活用した新たな情報発信等を行った。

また、国の「Go To トラベル」を利用した瀬戸内エリアへの旅行を促進するため、自社メディア「瀬戸内 Finder」において、「Go To 瀬戸内特集」ページを作成し、オンライン旅行会社と連携して、瀬戸内エリアの観光プロダクトや安全・安心に関する情報発信を行った。

(2) 現地エージェンシー（米・仏・独・英に設置）を活用したプロモーション

市場ごとに現地エージェンシーを設置し、メディア・旅行会社・業界団体等に対して、セールスコールやオンラインでの商談会、ニュースレターの配信等を実施した。

(3) プロダクト開発・販売促進

瀬戸内エリア内の自治体、DMO、事業者とも連携し、歴史文化、伝統工芸、自然、瀬戸内の島々など、ターゲットとする欧米豪の観光客のニーズに即した観光プロダクトを開発し、オンライン旅行会社のWebサイトに掲載した（各エリアで合計35件〔うち広島県は5件〕）。

その他、中国運輸局と連携した観光プロダクトの開発に取り組んだほか、海外旅行会社等がインターネット上で瀬戸内について自己学習できるeラーニングプログラムをJNTOとも連携しながら提供した（英語・独語・仏語）。

4 その他（令和2年度におけるせとうちDMOの事業支援）

（注）機構：一般社団法人せとうち観光推進機構 SBC：株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション

	年月日	支援内容等
1	R2.4.10	○瀬戸内地域の生産者との取引拡大のサポート，取引先における「瀬戸内フェア」の実施，商品の共同開発等への支援（北海道札幌市） 【機構】プロモーション 【SBC】せとうち観光活性化ファンドによる瀬戸内地域での営業展開等に関連する資金支援
2	R2.4.24	○特別目的会社による宿泊・温浴施設（Azumi Setoda）の開発への支援（東京都千代田区） 【機構】プロモーション 【SBC】せとうち観光活性化ファンドによる宿泊・温浴施設の開発に関連する資金支援
3	R2.8.24	○瀬戸内の農家や漁師から旬の食材を直接購入できるアプリ「ポケットマルシェ」運営への支援（岩手県花巻市） 【機構】プロモーション 【SBC】せとうち観光活性化ファンドによる運営，システム開発に関連する資金支援
4	R2.8.25	○瀬戸内地域でのプライベートツアーの開発・ガイド人材育成への支援（東京都文京区） 【機構】プロモーション，観光プロダクト開発 【SBC】せとうち観光活性化ファンドによるツアー造成・ガイド人材育成に関連する資金支援
5	R2.9.16	○観光案内所やカフェ，飲食店や宿泊施設などを併設した複合施設開業への支援（広島県尾道市） 【機構】プロモーション 【SBC】せとうち観光活性化ファンドによる施設建設に関連する資金支援
6	R2.9.30	○特別目的会社による淡路島でのホテル開発（KAMOME SLOW HOTEL）への支援（東京都港区） 【機構】プロモーション 【SBC】せとうち観光活性化ファンドによる宿泊施設の開発に関連する資金支援
7	R2.11.9	○ゲノム編集技術を活用した地域産品等開発への支援（徳島県徳島市） 【機構】プロモーション 【SBC】せとうち観光活性化ファンドによる地域産品等開発への資金支援
8	R3.1.13	○デジタルギフトプラットフォームの開発，運営への支援（兵庫県西宮市） 【機構】プロモーション 【SBC】せとうち観光活性化ファンドによるプラットフォーム開発等への資金支援